

歴史と現代が融合し、 新しい時代へ。

成田・栄支部

成田山新勝寺の門前町として発展してきた成田市と、その隣町の栄町。成田国際空港を中心に、国際化が進んでいます。成田・栄地区では昨年、念願の支部設立が行われ、若い人や女性にも気軽に参加してもらえるよう、さまざまな取り組みを計画しています。

千葉県成田市というと、有名なのは成田山新勝寺です。四季を通じて、さまざまなお祭や催しが行われ、内外の大勢の観光客で賑わいます。専修大学との「縁」という点では、成田山公園には政治家であり、本学の総長でもあった川島正次郎先生の銅像があります。

成田市は成田山の門前町という歴史や伝統がある一方、成田国際空港があり、新旧が混在した街となっています。最近では成田国際空港のハブ空港化が話題となっており、今後、ますます国際化も進行するものと思われま

す。これからの成田・栄地区の支部活動について、お聞きしました。

「成田市は『都市データパック 2009年版』（東洋経済新報社）の『住みよさランキング』

お話を
聞いた人

専修大学校友会
成田・栄支部長 茂木伸一さん
(昭28・商経経)

成田・栄支部

●支部の校友会員数／成田市 232名、栄町 75名

で、全国全都市の中でも第1位となりました。それくらい住みやすい街です。

成田・栄支部は成田市、隣町の栄町で構成され、専修大学創立130年に合わせて、昨年の2月22日に設立されました。昨年については設立間もないということもあり、行事らしい行事はできませんでした。今後の計画としてはゴルフ大会をはじめ、家族連れで参加できるイベント、たとえばバーベキュー大会や花見大会なども開催したいと考えています。私は昭和28年の卒業生の集まりである『28会』の代表も担当しており、2月の新年会、秋の一泊旅行を29年以來、ずっと続けています。

課題としては、若い平成世代や女性にも参加してもらいたいと思っています。そのためには、魅力ある催しや勉強会など、参加したくなるようなものにしたいと考えています。また、支部同士の情報交換やコミュニケーションを活発にする、初めての参加者などには、私たちや役員のほうから気軽に声をかける……、そうしたことも必要と考えています。支部長としては、いろいろやらなければいけないのですが、今まで参加したことがないという校友の皆さんも機会があったら、ぜひ一度、参加してほしいですね」 (聞き手・編集部)

スポットミニガイド 支部のある街

御利生祭



お不動様の御利益を再現し、そのご縁に感謝しつつ、さらにご利益をいただけるようお願いするお祭で、毎年、10月中旬に開催されます。成田山参道や本堂などで、弦楽器のライブ演奏も行われます。

写真提供：成田市

成田国際空港



日本を代表する空の玄関として、ますます重要性や位置付けが高まっています。2009年度の発着回数は約18万7千回です。旅客数は約3,285万人で、内訳は国際線で約3,152万人、国内線で133万人となっています。

写真提供：成田国際空港株式会社

米屋の羊羹

成田市の羊羹は明治15年、成田山新勝寺の精進料理の一つとして出された精進料理にヒントを得たと、言い伝えられています。

ドラムの里 (栄町)



地元の農家の人たちがつくった旬の野菜や果物、加工品を販売する農産物直売所。地元のお母さんが季節の地元食材を使って料理したレストラン、さらに情報館、交流館の4つの施設があります。写真提供：栄町産業課商工観光班

主な年間活動カレンダー

支部総会

ゴルフ大会、バーベキュー大会やお花見などを予定。